

## 「核医学担当技師の教育を考える ー新配属職員の教育ー」

千葉大学医学部附属病院 放射線部における人材育成について

千葉大学医学部附属病院

飯森 隆志

### 1. はじめに

今日、核医学診療において超高分解能 PET 装置や新プローブの開発、分子イメージングと放射線治療の融合など分子イメージングの進歩に伴い、高度先進医療における広い知識と高い技術が必要である。患者さんに最適な医療を提供し、かつ医療行為の安全性が確保されている事が重要であり、さらに医療従事者として高い意識と人間性豊かな人材の育成が必要不可欠である。今回は「核医学担当技師の教育を考える ー新配属職員の教育ー」というテーマのもと、当院における核医学担当技師の人材育成について報告する。

### 2. 施設概要

- ・ 所在：千葉県千葉市中央区亥鼻
- ・ 病床数：835 症
- ・ 診療科、診療部門：31 科、21 部門
- ・ 診療放射線技師数：42 名（核医学：5 名）
- ・ 装置：RI（GE:Infinia+Hawkeye4×2 台）  
PET（GE:PET Advance Nxi）
- ・ 検査数：約 100 人/週（2011 年度 4700 件）



Photo.1 千葉大学医学部附属病院 外観

### 3. 放射線部が目指す診療放射線技師像

Fig. 1 に我々が目指す技師像として掲げている項目を示す。病院理念に基づき、放射線部が目指す技師像を明確に示すことで、新人や若手技師達が医療従事者として高い意識を持ち医療安全に心がけ、高度で良質の医療を提供する高い意識を堅持することを目指している。

#### 放射線部が目指す診療放射線技師像

1. 患者が安心して検査・治療が受けられるよう、感性豊かな人間性、深い洞察力、優れたコミュニケーション能力を持つ
2. 安全な検査・治療を提供するために十分な研修を受け、常に安全を意識した業務が行える。
3. チーム医療の一員としての責任を果たす。
4. 研究テーマを持ち、医学・工学研究者、またメーカーと共同で新技術を開発し、実用化を目指す。
5. スペシャリストとしてその技術力を社会に発信し、指導者として活躍する。

Fig.1 千葉大放射線部が目指す診療放射線技師像

### 4. 核医学部門における新人教育

Fig. 2、Fig. 3 に核医学部門における新人教育の概要を示す。我々はまず核医学部門における教育目標として、専門技師を目指した人材育成、高度先進医療に対応する画像提供、核医学分野における幅広い知識の習得を目指した教育、さらに卒後教育、専門教育を視野に入れた教育を目指している。主任や副主任技師の指導の

#### 核医学部門における新人教育

- ・ 専門技師を目指した人材育成を行うこと
- ・ 高度先進医療に対応した画像情報の提供
- ・ グローバルな知識の習得

↓  
卒後教育と専門教育に分けた教育方法を確立

↓  
▶ 卒後教育5ヶ年計画  
(3年間の基礎教育と2年間の専門基礎教育)  
6年目以降：再教育、自己スキルアップを目指す  
大学院進学や専門技師および認定技師の取得などの期間

↓  
専門分野に移行するためのプログラムを構築

Fig.2 核医学部門における新人教育

